

質問

担当医からがん遺伝子パネル検査を勧められました。がん遺伝子パネル検査は何を使って行われるのですか。

遺伝子パネル検査



上原 久典  
徳島大学病院  
病理部長

回答

がんは遺伝子の異常が原因で起きる病気です。遺伝子の異常にはさまざまな種類があることがわかってきました。がん遺伝子パネル検査は、複数(多いもので数百種類)のがん関連遺伝子を1回の検査で調べることができま

す。保険適用となっている治療薬が適応するか否かの判定、標準治療がない患者や、標準治療を終えた患者に対し、別の薬物療法の可否を判断する材料などに用います。

がん遺伝子パネル検査には、検査目的で採取されたがん組織や、手術で摘出されたがん組織のうち、保存されている物を使用します。

これらのがん組織は、ホルマリン固定された状態で病理検査部門に提出されます。組織はパラフィンに埋め込まれ、パラ

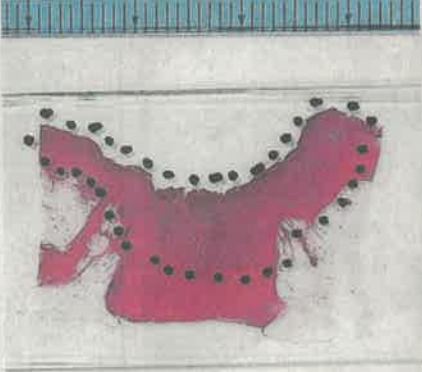
採取・保存組織を使用



フィンブロックと呼ばれる。

専門の臨床検査技師が特殊な装置で薄く切つて、切片をガラススライドに乗せて、染色します。それを専門の医師(病理医)が顕微鏡で観察。がんで間違いないか、どんなタイプのがんなのか、手術検体なら、がんがどれくらい広がっているかなどを診断します。

パラフィンブロックは、追加検査が必要な場合に備えて一定期間保管しています。がん遺伝子



【上】がん組織のガラス標本(点で囲んである部分にがんがある) 【下】がん組織のパラフィンブロック

適応治療薬判断に活用

**がん何でもクイズ**

がん治療の基本は『・早期治療』です。に入る言葉は何か。

①早期発見②創意工夫③軽い運動

行こうよ！がん検診

パネル検査は、組織からDNAを抽出して検査に用います。パラフィンブロックを使う検査には幾つか注意する点があります。一つはDNAの質で、組織をホルマリン漬けにするまでに時間がかったり、ホルマリンに漬けた時間が長すぎたりした場合や、ブロックの保管

期間が3年以上経過している場合は、DNAの破壊が進み、検査がうまくいかないことがあります。

もう一つはDNAの量の問題。多くのブロックには正常細胞とがん細胞が含まれています。必要なDNA量はパネルによって異なるものの、赤血球や変性した細胞を除いた全ての細胞の中にがん細胞が占める割合が20、30%以上ないと、がん細胞の遺伝子異常の診断が困難です。

がん組織からのDNAの質や量が不十分な場合は、新たながん組織の採取が必要になることがあります。

(第4土曜掲載)

がんに関する質問は  
徳島がん対策センター  
電話 088 (634) 6442  
(平日午前8時半から午後5時まで)へ。